

カリキュラムの要点



教科に関する概要

コア・コンピテンシー

ビッグ・アイデア

教科内容

教科別コンピテンシー

補助教材

BC州カリキュラム改革のハイライト

● 学習の個別化

BC州で実施するカリキュラムの改革により、学習の個別化を推進し、BC州で学ぶ児童生徒の多様なニーズと興味に対応するための柔軟性を作り出します。

● 生態系と環境

理科カリキュラムを改訂し、生態系と環境をよりの確に上げます。

● 歴史上のあやまち

カリキュラムには、アジア系・南アジア系コミュニティの歴史とそれぞれのコミュニティがBC州の発展に寄与した事柄だけでなく、それぞれが受けた不当な扱いについても含みます。

● 先住民の視点と知識

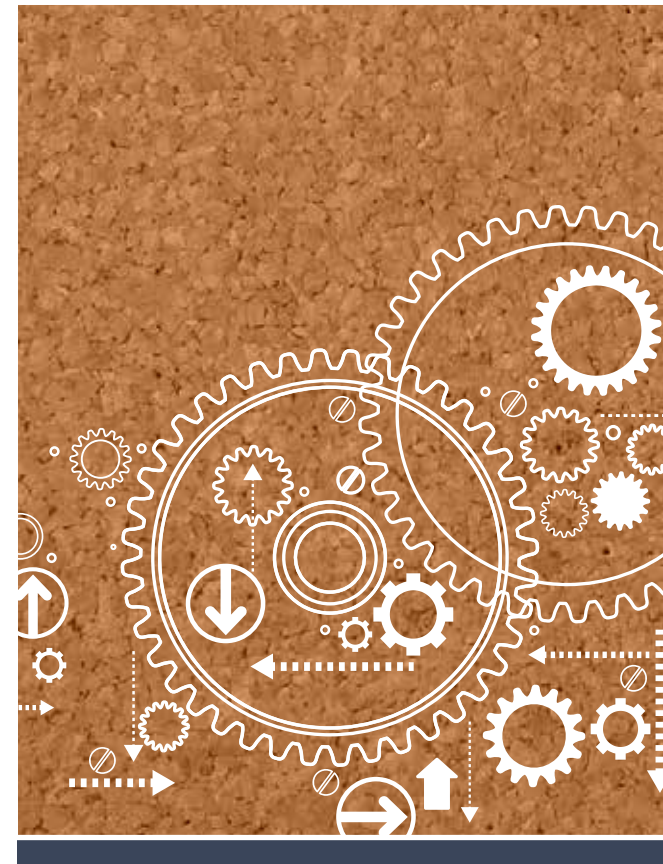
先住民の文化と視点が学習分野全般に組み込まれています。たとえば、「先住民の知識の習得の原理」を反映したカリキュラムでは、地域に根差した学習や先住民伝来の認識方法に力点を置きます。

● 柔軟な学習環境

新しいBCカリキュラムには、教員が適切な内容の、かつ意欲を起こさせる斬新な学習環境づくりができるように大いに柔軟性を持たせています。学習環境に柔軟性を持たせたのは、地域ごとの事情や地域に根差した学習を取り入れられるように配慮したものです。

BCカリキュラムの改革

オリエンテーション・ガイド



BRITISH COLUMBIA

Ministry of Education

www.curriculum.gov.bc.ca



BC州カリキュラム改革

ブリティッシュコロンビア州の改革カリキュラムの中核にあるものは、読み書きと計算能力の基礎、不可欠な学習要素、コア・コンピテンシーです。

読み書きと計算能力の基礎

新しいカリキュラムでも、しっかりした読み書きと計算能力の基礎が必要というBC州における現在の見解が重視されています。

読み書きと計算能力の基礎—文章の識字能力(読み書き)、数字・財務リテラシー、視覚リテラシー、デジタルリテラシー—は社会的・経済的に今日の世界に完全に参加するために基盤となる条件です。

読み書きと計算の能力は、カリキュラムのすべての分野で応用しながら育成されます。読み書きと計算の学力到達目標はBC州学力水準に記載されています。

不可欠な学習要素

新しいカリキュラムは、概念ベースかつコンピテンシー重視のカリキュラムと説明されています。つまり個々の事実や情報の暗記ではなく、概念の深い理解とプロセスの応用にいつそう力点が置かれています。

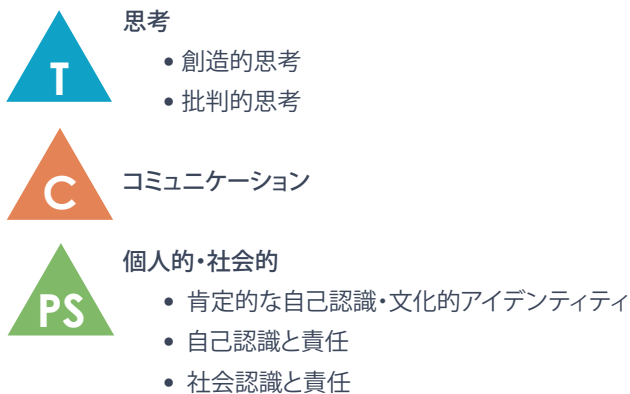
学習の領域ごとの学習基準とビッグ・アイデアは何が不可欠か、つまり、各学年で児童生徒が知ること、できるようになること、そして理解することが期待される事柄を特定するものです。



コア・コンピテンシー (中核となる能力)

コア・コンピテンシーはBC州におけるカリキュラムの改革の柱に据えるものです。

コア・コンピテンシーは、児童生徒全員が学習にいつそう深く取り組むために育成が必要な知的、個人的、そして社会的・情緒的な能力の組み合わせです。これには思考力、コミュニケーション力、社会的・個人的な能力が含まれます。



コンピテンシーは学習基準の一部で、学習基準にはコンピテンシーが盛り込まれています。児童生徒が特定の学習分野に限らず何かを「する」ことに熱中する時、コンピテンシーは作用し始めます。読み書きと計算能力の基礎、不可欠な学習要素、およびコア・コンピテンシーは総合的に、教養のある市民の育成に貢献します。



カリキュラム・モデル

カリキュラム・モデルは、教科内容、教科別コンピテンシー、ビッグ・アイデアの3つの要素でできています。教員はこの3つの要素を授業中に個々の児童生徒に合った学習を促すために組み合わせます。

教科内容

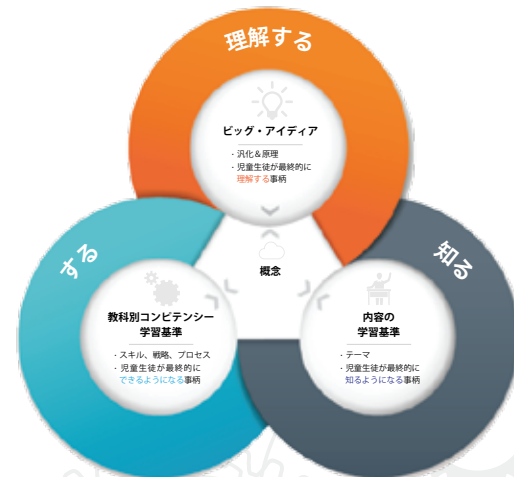
児童生徒が知ることを期待される事柄

教科別コンピテンシー

児童生徒が行うことを期待される事柄

ビッグ・アイデア

児童生徒が理解することを期待される事柄



本モデルは現代学習論とBC州現場の教員の提唱を基に最良の事柄を取り入れました。着手に当たり、BC州の教育関係者からのカリキュラムに対する要望点は次の通りです。

- 教員が新手法をより取り入れやすくするために柔軟性を持たせる
- 高位の学習を重視する
- コア・コンピテンシーを検討する
- 先住民の世界観と知識を取り入れる
- 教科横断的学習を支援しながら、ユニークな各領域の独自性を尊重する